



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社  
コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石栗 秀  
問合せ先責任者 (役職名) 法務室長 (氏名) 草野 考弘  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-6414-5527

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,455	7.1	318		210	71.6	118	75.9
2023年3月期第1四半期	15,366	17.8	502	37.2	741	32.5	492	35.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,616百万円 (474.2%) 2023年3月期第1四半期 281百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	8.91	
2023年3月期第1四半期	36.52	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	99,115	68,837	69.5	5,207.16
2023年3月期	103,149	68,134	66.1	5,102.17

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 68,837百万円 2023年3月期 68,134百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	8.2	1,100	6.2	1,500	5.2	1,000	1.9	74.88
通期	70,000	7.7	1,600	6.2	2,200	10.4	1,500	19.0	112.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	15,325,642 株	2023年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	2,105,918 株	2023年3月期	1,971,718 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	13,301,753 株	2023年3月期1Q	13,481,485 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されたことで経済活動が正常化へ向かう一方、円安やウクライナ情勢等の影響に伴う資源価格や原材料価格の高騰等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、第2次日甜グループ中期経営計画(2023年4月～2028年3月)では、「持続可能なん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく」を掲げ、「お客様満足度の追及」、「働きやすい環境の実現」、「環境への配慮、社会貢献の推進」に取り組むこととしております。また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、一層の企業価値の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比7.1%増の16,455百万円となりましたが、ビート糖製造等の燃料在庫について棚卸資産評価損を売上原価に計上したことにより、経常利益は、前年同期比71.6%減の210百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比75.9%減の118百万円となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

#### <砂糖事業>

砂糖事業の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる砂糖の販売数量が回復傾向にあること、及び砂糖相場高騰に伴う販売価格の上昇により、前年同期比10.2%増の11,755百万円となりましたが、棚卸資産評価損計上の影響が大きく、71百万円の営業損失(前年同期は289百万円の営業利益)となりました。

#### <食品事業>

食品事業の売上高は、イーストやオリゴ糖の売上増加等により、前年同期比8.0%増の664百万円となり、1百万円の営業利益(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

#### <飼料事業>

飼料事業の売上高は、穀物相場高騰に伴う配合飼料の販売価格の上昇により、前年同期比9.6%増の2,646百万円となりましたが、棚卸資産評価損計上の影響が大きく、502百万円の営業損失(前年同期は130百万円の営業損失)となりました。

#### <農業資材事業>

農業資材事業の売上高は、移植機材等の売上減少により、前年同期比25.0%減の746百万円となり、営業利益は、前年同期比66.8%減の36百万円となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業の売上高は、一部賃貸物件の稼働率低下により、前年同期比3.4%減の368百万円となり、営業利益は、前年同期比5.6%減の232百万円となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の売上高は、石油類の売上減少等により、前年同期比5.2%減の274百万円となり、57百万円の営業損失(前年同期は51百万円の営業損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4,034百万円減の99,115百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末比5,864百万円減の51,189百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比1,830百万円増の47,925百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比4,737百万円減の30,278百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比5,369百万円減の20,355百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比631百万円増の9,922百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比703百万円増の68,837百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,589	4,629
受取手形及び売掛金	8,537	8,590
電子記録債権	228	217
有価証券	6,000	6,000
商品及び製品	29,667	20,436
仕掛品	483	522
原材料及び貯蔵品	5,746	5,925
その他	1,808	4,875
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	57,054	51,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,423	11,200
その他(純額)	12,987	12,901
有形固定資産合計	24,411	24,101
無形固定資産		
	513	505
投資その他の資産		
投資有価証券	19,527	21,691
退職給付に係る資産	1,481	1,486
その他	163	142
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,169	23,318
固定資産合計	46,094	47,925
資産合計	103,149	99,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,180	2,107
短期借入金	18,637	11,391
未払法人税等	100	69
その他	5,806	6,786
流動負債合計	25,724	20,355
固定負債		
長期借入金	119	96
役員退職慰労引当金	12	13
退職給付に係る負債	4,090	4,120
その他	5,068	5,692
固定負債合計	9,290	9,922
負債合計	35,015	30,278
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,413	8,413
利益剰余金	45,521	44,971
自己株式	△3,739	△3,985
株主資本合計	58,473	57,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,182	10,687
繰延ヘッジ損益	△2	6
退職給付に係る調整累計額	480	463
その他の包括利益累計額合計	9,660	11,158
純資産合計	68,134	68,837
負債純資産合計	103,149	99,115

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	15,366	16,455
売上原価	11,528	13,518
売上総利益	3,837	2,937
販売費及び一般管理費		
販売費	2,555	2,429
一般管理費	779	826
販売費及び一般管理費合計	3,335	3,256
営業利益又は営業損失(△)	502	△318
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	294	545
持分法による投資利益	8	8
その他	25	37
営業外収益合計	328	590
営業外費用		
支払利息	34	32
固定資産処分損	46	21
その他	9	8
営業外費用合計	90	61
経常利益	741	210
特別利益		
投資有価証券売却益	3	32
補助金収入	-	385
特別利益合計	3	417
特別損失		
固定資産処分損	13	9
固定資産圧縮損	-	384
その他	0	-
特別損失合計	13	393
税金等調整前四半期純利益	731	234
法人税等	239	115
四半期純利益	492	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	492	118



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	492	118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209	1,505
繰延ヘッジ損益	4	9
退職給付に係る調整額	△5	△16
その他の包括利益合計	△210	1,498
四半期包括利益	281	1,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281	1,616
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式133,900株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が245百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,985百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

## ②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,669	615	2,415	994	381	15,076	289	15,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	6	4	4	31	105	459	564
計	10,728	621	2,419	999	412	15,181	749	15,930
セグメント利益 又は損失(△)	289	△3	△130	108	246	511	△51	459

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	511
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△51
セグメント間取引消去	42
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	502

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,755	664	2,646	746	368	16,180	274	16,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64	5	4	-	31	105	439	545
計	11,819	669	2,650	746	399	16,286	714	17,001
セグメント利益 又は損失(△)	△71	1	△502	36	232	△302	△57	△359

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△302
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△57
セグメント間取引消去	40
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△318

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益(又は損失)の測定方法の変更)

「その他」の区分のセグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいた金額により集計しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、セグメント間の取引規模をより正確に表示するために取引実態に基づいた金額により集計する方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間の「その他」の区分のセグメント間の内部売上高又は振替高が1,885百万円減少しております。また、セグメント利益(又は損失)に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。